

## 都市の發達に伴ふ兒童問題の一として

東京市助役 池田 宏

親として膝下で専心其の子の養育にのみ當り得ない事情があつたり、生れ乍らにして我親の溫情に浴する事の出来ない者があることは誠に人生の不幸である。斯の如き場合に肉親に代つて哺育し、保護する事は世の務めである事は申す迄もない。殊に兩親をして安心して思ふ存分に日々の仕事に没頭し得る様にする爲めには其子女を預つて哺乳、保育をする機關の在る事は誠に望ましい事で、獨り工場に通ふ労働者に限らず、生存競争の益々はげしくなる現代の都市生活に於ては必ずや公私種々の方面からの施設に俟たねばならぬことである。

凡そ都市に於ける兒童福祉事業としては種々の方面に互つて施設しなければならぬ事が數限りなくあるが其眼目とする所はいふまでもなく要するに兒童の心身の健全なる發達を圖るに在るもので、中にも大都市生活に在つては特に保健の方面からあらゆる施設をして行くことが必要である。社會事業として

兒童預所を設けたり、兒童保護委員を設けたりする事は勿論大に仕なければならぬが、都市の發達に伴れて、半人生の保護問題として、半労働問題として益々重要な地位に置かるゝ兒童問題は一の大きな社會問題として都市計畫の方面からも解決しなければならぬことを忘れてはならない。

都市が愈々大きくなるにつれて社會的兒童問題の一として、現代の急務とするのは、兒童遊園地の設備を完成することである。理想を云へば各自の家に、充分に新鮮な空氣を供給することの出来る日あたりのよい自由な空地の附屬する事を望むのであるが、人家稠密の避くべからざる都市に於ては家屋そのものにさへ充分の土地を得る事の困難から中々そんな事は望み難い實狀に在る。止むを得ず建築は階段的に高さを増し、たとへ少しの空地はあつても明るい光線や晴れやかな空をあふぐ事は出来なくなり遂にはその様な空地すら見出し得ぬほどになつて來るの

が都市の常である。此の結果は都市の住民と農村の住民との間に於ける衛生統計の上であり、と顯はれて、前者の平均壽命は後者の夫れに較べて、非常な差を生じ、遂に都市は農民の墓場といふやうな、呪咀の聲ともなり、現にどこの國でも都市の壯丁は農村の夫れに比して非常に多數の不合格を出す様にもなり、彼の結核病の如き恐ろしき病をして都會病といふ別名さへ持たしむる様になるのである。

試に我東京で最近施行した調査に表はれた處を見ると全市に於ける現住人口の平均死亡率は百人中二人二分であつた。大正八年に於ける市内細民地區即最密住を極むる地區十數町約二十萬人の平均死亡率は百人中二人五分に近く、全市の平均死亡率一人七分五厘に下つた大正十年でも右密住地區の夫れは二人二分に達してある。又該密住地區に於ける死亡率は當歲兒に於て百人中二十人餘に當り（全市の平均は十六人弱）四十歳以後には著しい差を見ないが働き盛りの四十歳迄はどの年齢階級に於ても密住地區の死亡率は常に全市の平均よりも高位にあるを示して居る。之を見ても密住生活の如何に恐るべきかよく判かる次第で、此の密住生活の害を最少限度に

止めしむることは社會的兒童保護の上に重要な意義を有する事を知るのである。

我が國では主として經濟力の關係からまだ幸に米國に見る様に突飛に高い摩天閣は見るに至らないが、其代りにはどこの市街地にも殆ど餘地のない背中合せの家屋がギツシリと建てこんだ有様は却て物凄に思はれる。抑々この密住家屋なるものは右に述べた如くに住民の生命と健康との爲めに容易ならぬ結果を齎らすことに考へて見ると之に備ふる事の焦眉の急務たるを深く感ずる次第である。然るに隣りの家根で我家にさすべき日光の影が妨げられたり、向側の屋根が高すぎる爲めに此方側の縁側にあたるべき日光をさへぎつたりする事は都市生活に於て常住見る所の現象で、必ずしも細民地區に限らない。

加之都市に在りては種々の人爲的發達の爲に寸地も餘す所なきまでに建て込められるので勢ひ其の住民は爽かな空氣と晴れやかな日の光との自由な自然から離れなければならなくなるもので之が密住生活をして保健上惡結果を齎らさしむる主要の原因と云はねばならぬから、斯くなることは何としても捨て

置く事は出来ない。尤も此の様な事のない様に近頃市街地建築物法の發布もあつて第一に道路の幅と家の高さとのきめた爲めに向ひ合て居る家はお互に日光を奪はぬ様に我家の屋根は向ひの縁と略々四十五度の角度を保つように建てねばならぬ事になつた。又表家と裏家との間にも兩隣同志の間にも同じ様に互に侵し合はぬ様に配慮される様にはなつたが、都市の土地は高價である爲めに建築物法の規定が守られることが殆ど關の山で、中々銘々の家族が庭を有つといふ様なことは出来ない。殊に土地經濟の方面から見ると都市の境域内には平家建や二階建など許りにして置くことは非常に不利な立場になる爲に、勢ひ丸の内に見る事務所の様な高層造りの洋風な共同住宅の如きものが出来る様になるのは歐米に見る所で、我國にも此の傾がある。

然るに共同住宅は一個の建築であつて同時に共同の町の様なものである、建築物法の關係から中庭として自ら相應な空地を設ける様になり、夫れが此の建物に住む家族の共同の庭として用ゐられるので、之に庭園的設備を施したりして居るのがよくある。此の中庭は、建築に圍まれて道路とは絶対に無交渉

の土地である爲めに、めまぐるしい交通機關におびやかさるゝ事もなく子供の遊び場としては最も適した處であるに違ひない。

して見ると建築の新型式を何等かの方法で奨勵することは社會的兒童保護の一解決方法の様にも見ゆるが、元來この様な建築は決して望ましいものではない。避け得らるゝ限りは避け度いのである。唯都市としては如何に金を掛けても種々の都市設備を施さねば都市生活を維持することが出来なくなるが其の設備費は幾世帯かで持ち合つて始めてこれを築造することも出来れば維持することも出来るようになる關係から止むを得ず出来るものである。

市民の住宅としては比較的土地經濟の爲めに左右されない郊外高燥開豁の地に充分な裏庭の餘地を有して建てられた獨立家屋を得ることは子女の幸福の爲めに理想であることはいふ迄もないが夫れには交通機關の設備を完成して譬へば「ベルジック」に最發達した實例を見るが如くに郊外と都市との間に於ける鐵道及軌道の連絡の便を充分にし、田園生活を樂しみつゝ都市の職業に従事することが出来るようにならなければならぬ。英國に於ける田園都市の如き

は此の如きは此の意義から社會的兒童保護の有力なる一解決方法として促進されねばならぬものであると思ふ。現に田園都市に於ける住民の死亡率が非常に低く千人中五人乃至十人の範圍に在り、其の兒童の健康及身體の發育頗る良好にして小學生でも中學生位の體格を備ふるに至つておる様な英國の實績を見ると特に此の感を深くするのである。我國では田園都市といふと中流以上の住宅地の様に考へられて居るが、之は大きな間違で、企業主等に依つて勞働者の爲めにも田園都市的住宅の經營を見るに至らん事は兒童の爲め余の切に希望に堪えぬ處である。

然るに悲しい哉土地經濟等から縛られて止むを得ず必ずしも歓迎す可らざる共同住宅の類が實施せられる様になることは洵に都市生活の爲めに憂ふべき事の限りである。それに共同住宅の中庭と云ても五階からもある建築になると一構への内に可成多數の家族が收容せらるゝ事になるので全家族の兒童の爲めの遊び場としては充分と云ふ事は出来なくなる。

其の補充となるものはいふ迄もなく小公園や運動場や兒童遊園地の類である。我國では市街地にも神社佛閣の類ありて是等に代はるといふては語弊はあ

るが、兎に角神聖なる自由空地の到る處に散在しておる事は甚だ欣ぶべき事で町内同志は須らく可成此の境域の維持に努めなければならぬ事とは思ふが、それは姑らく別問題としても、可成近い處に小公園や遊園地の類が設けらるゝ必要があると思ふ。

獨逸などでは七八町も歩かずに此の種の設備に近づき得る程にしなければならぬことになつておる。

一般に廣場と呼ばれて主な四辻にあるのは夫れである。廣場は一方には、ばげしい交通の調節の爲めに設備することもあれば又一方には避難の爲めにすることもあるが兒童の爲めには屈竟の遊び場と爲ておる。中には時間によつて市場の用に供せらるゝものもあるが開市時間がすむと自由の遊び場の役をするのである。勿論兒童専用の爲めにするものでなければ、子供の爲めの運動具などの設備もなく單に芝を植えるとか、草花をあしらふ位のものであつても、日光の充分にさす自由な空地は都市生活者に對しては此の上ない慰藉であり、其肺臟の様な働きをする事に考へて見ると廣場ほど適切な設備はあるまいと思ふ。ベルリン其他獨逸の都市では此の普及がよく出来て居る。ロンドンの様に、大地主の多い處では

——十四五人の地主でロンドン全市を所有してゐる——地主が私有地を公園なり遊園地として公衆の爲めに開放してゐるが、是等は誠にゆかしく感ぜられる。倫敦の公園はアルフレッド大王時代の治績に依り爾來著しく發達を遂ぐるに至り密住生活から蒙つた弊害や大火災に逢た苦い經驗からして、市の計畫を俟たずに地主達各自の自重心から設けられたものが多いが自然の大遊園に至つては實に羨ましい。舊來英國人は非常な運動家で、國としても殆ど軍備費に次いで運動費を費やしてゐる程であるが地主の開放してゐる土地はヒース (Heath) と呼ばれて日曜なり土曜の午後などは子供と共に成人までこの廣い山あり谷ある(東京で云へば戸山が原の様なもの)遊園地で存分に種々の運動を試みて清遊する有様は洵に目覺ましく、英人の健全なる身心は多く此の境に養成せられると云ふも過言でないと思ふ。

我國でも夙に藝州の淺野侯が其の邸園を市民に公開したり、横濱の富豪原氏及岡野氏が其の邸園なり所有に係る自然の大公園を同じく市民の爲めに公開したり又東京の岩崎氏が其の庭園の一部に特に設備した兒童遊園地を市民に公開したり、近くは故安田

翁が其の庭園を市に寄附したりして市民の保健殊に、兒童の爲めに盡して呉れてゐる事は英國に見ると同じ型で、洵に結構の機運といふべく、此の様な實例が段々に出て來て大に兒童保護事業の基礎が築き上げられる様にしたと思ふ。佛國に於ても都市の經營計畫は古くルイ十四世の時代からナポレオンの時代へかけて非常に盛であつた、かのホスマンが巴里の市長であつた頃に、ナポレオン三世が大ナポレオンの立案に従て實施した巴里改造計畫といふのがあるが、其の主眼とする處はブルバールとアベニューとを通じ莊大なるブラスを造る事にあつた。是も畢竟するに市民の子弟に自由な空地を興へるに在たものである。現今では公園のリーグを造ると云ふ計畫が都市計畫の一要綱と爲てゐるが、ホッスマンの計畫したブルバールとブラスは即ち組織的に公園と公園との聯絡をはかつたもので、彼の有名なるシャンゼリゼーの大通りには左右に鬱蒼たる植樹帯を配してボア(自然の森林公園)とブラスとを聯繫して自らリーグの組織をなして居る。公園としての計畫が誠に間然する所なく、殊に子女が嬉々として樂しむでおる事は羨ましい程であるが、之に附隨した

道路までが公園的に經營せられて居る事は味ふべき事と思ふ。我國では動もすれば公園を以てブルジョアの爲めにする閑事業だ位に考へておる人が知識階級に澤山あることは噴飯に堪えない。然るに大公園的設備は別としても小公園の類は現在の様に市の仕事にするよりもむしろ——都市にはそれ以外にも多くの事業が經營せられなければならないから——一町内が自分達の子共達の爲めに其の環境其の土地柄に應じて實施する方が適切であると思ふ。

現に淺草藏前の兒童遊園地などはそれへの第一歩で町内の有志諸君が主となつて持合ひで費用を市に寄附し、市は之に幾分かの費用を足して造たものであるが町會の諸君は自治的に之が管理維持の實際に任じ設備なども有志の寄附で完成するに努力し誠によく子女の爲めに熱心に經營せられてゐる。何事によらず經營者と利用者とが密接の關係に在つて朝夕お互に知り合はれた町内の者が自分の町、自分の子供、自分の子供の友達と云ふ様にごく親しみの近い者の爲に手近い處で計畫も管理も實行もする方が却て良結果を得安い事と思ふから今後は益々此の方面に進んで行き度いと思つておるが、一町で負擔に堪へない時

には四五町の聯合するのもよいと思ふ。

近郊を合せると東京市現在の人口は三百三十六萬であるが今まで通りの増加の割合で行くと大正二十五年には五百萬を超え殆どニューヨークと同じ位になるはずである。すれば密住生活を妨ぐ爲の都市問題からしてもかよわい兒童の保護問題からしても、かの英のヒースや獨のグラス等に代るべき兒童遊園地なり小公園なりが少なくも十町毎に一つ位の割合で全市に配置される事を希望する。(文責在記者)

いざ子供走り

ありかむ玉露。

ばせな